

平成28年度 第2回 恵庭市中小企業振興審議会・
第5回恵庭市中小企業振興審議会基本計画推進管理専門部会 合同会議 会議録（要旨）

- 日 時 平成29年2月2日（水） 14:00～16:00
○場 所 恵庭市民会館 大会議室
○出席者 審議会委員）行澤委員、野表委員、小松委員、掃部委員、塚崎委員、
松尾委員、竹田委員、坂下委員、武藤委員、北口委員
専門部会委員）大貝委員、森谷委員、芝委員、宮内委員、村本委員、
梅根委員、石塚委員、堀井委員、上森委員、竹花委員、櫻田委員
市） 佐藤経済部長、高澤経済部次長、江川商工労働課長、
高橋商工労働課主査、吉成商工労働課主査、桑原商工労働課主任、
浅野商工労働課主事

1. 開 会

2. 委 嘱

（市長より各委員へ委嘱状交付）

3. 市長あいさつ

4. 中小企業振興基本条例の改正結果について

事務局より説明

5. 議事

事務局

（1）審議会会長・副会長、専門部会部会長・副部会長選出

【会長、部会長、副部会長挨拶】

【※ 審議会→専門部会の順に自己紹介】

6. 報告

（1）今後のスケジュール及び事業アイデアの反映状況について

事務局より説明

(2) の中小企業経営改善実態調査について

事務局より説明

U 専門部会長

業種によって人手不足が強く現れている所とそうでない所が、あろうかと思えます。

次年度の事業のアイデア出しでは、人手の確保や、人材育成をどのように進めて行くのかのヒントになるのではないかと考えております。

それから、事業承継ですが、特に小売店の場合に店舗兼住宅であるというケースが多く、起業する時に空きテナントとして使用したいというようなケースがある一方で、どうやら店を閉めた後は、そこで生活をするから店舗を譲れないといったギャップが全国各地で見られるようなことが、そのまま恵庭でも起きていると伺っていますので、このようなミスマッチというか、上手くマッチング出来る方法というのを改めて考えて行く必要があると思えます。

W 副部会長

近年、外国人のインバウンドの方が、たくさん来ていただいて新千歳空港にも LCC の就航によって観光客が増えている中で、地元企業がそこを取り込めていないと思いました。

そういう意味では、外部環境の変化を上手く取り込めるような機会をもう少し中小企業の方々と情報共有しながら展開出来ればよいのではないかと考えました。

L 委員

建設業での人材不足が課題としてあるので、そういった部分でも企業同士が知り合う機会を増やすということが、良いことなのではないかと思えます。

M 委員

アンケートの結果を全ての企業に当てはめるのは、危険かなと思っているので、細部に亘って検証した上で、専門部会では、より深いところで議論した方が良いと感じました。

E 委員

農協で準職員の正職員化を取り組みました。

また、農業の分野においては労働力不足が解消出来ないというのが、最大の悩みです。

あわせて、人材の育成が問題になっていると感じております。

経験のある良い人材がたくさんいますので、そういう部分を強化して雇用していく取り組みを始めたところです。

(3) 創業支援事業計画について

事務局より説明

F委員

創業というのは、様々なパターンがあろうかと思います。

廃業も色々な条件があり、経営が悪くて、もう商売が成り立たないという廃業については、中々改善は難しいと思いますが、経営者が高齢化で後継ぎがないという場合の廃業であれば、これは何とか打つ手を見つけるのが、その会社への支援となろうかと思います。

その廃業予定の会社と起業予定者を上手くマッチングする機会の創出を恵庭市が出来れば良いのではと思っています。

G委員

一点、質問です。

16ページにワンストップ相談窓口を担当者2名を配置するとありますが、既存の職員になるのでしょうか？

事務局

そのとおりです。

R委員

起業に関しては、異業種からの起業で失敗が多いと聞きます。

起業に対して、なるべく今まで培って来た自分に身に付いているノウハウ等を活かした起業というのをお勧めしていくべきなのではないかと思っています。

H委員

恵庭市でも様々な起業の支援で上手くいった事例や、開業したところの成功事例をPRすれば市外から来る人も起業してみたいくなるのではないのでしょうか。

また、私は健康栄養学科の講師をしまして、管理栄養士を養成する学科です。だいたい80パーセント位の人が、管理栄養士として働きますが、それ以外の仕事に就く学生もいます。

恵庭に根付いて就職できるようなチャンスが増えて来れば良いと思いました。

事務局

まず、起業の方ですが、開業から5年から10年を超えて、売上が伸びず発展しないような状態はないのかと危惧されているのかと思います。

今後、連絡調整会議の中で成功している事例を把握しPRしていきたいと思っています。

それから、地元での就職ということですが、現在、我々も大学、専門学校、地元の高校に通っている学生の地元での就職の推進を強く進める為に恵庭市内の企業を学生、生徒に知ってもらう取り組みを色々進めております。今後、積極的に周知するような方法をとりたいと思っております。

D委員

創業といっても従来の創業と違って、副業的なものも多くなってきている印象を受けます。これらにも対応ができるような体制を進めたら良いと感じているところです。

O委員

商売をやり始めて様々な補助金や融資制度がありますが、経営が軌道に乗ったら返してもらうというような、小規模企業に対する支援の仕方というのが、何かないものかなと考えております。

F委員

業況のところでは売上げが増加したという中で増加の要因の一番多くは、顧客や売上げが増えたと答える企業が多い、一方、16ページの方には、売上げが減ったというところの要因は、顧客が減ったという企業が多い状況です。

これらのことから顧客や販売先が増えたとおっしゃっている方の話を良く聞くと、何か良いアイデアがあるのでのではないかと思います。ここを深堀して調べていただくと、地元の方々の売上げを向上させる為には、どうすべきか具体的な提示ができるのではないかと思います。

I委員

市内で、直ぐ来てくれるような業者に頼めるとよいと思います。地場産とか地産地消とかを掲げています。市内の事業所は、人材不足で営業ができていないのかもしれない。

そういう部分がどうなっているか、お聞きしたいと思います。

N委員

商工会議所も色々なPRを行い、企業のお手伝いをしています。企業からの負担を少なくした中でフリーペーパーに掲載したりなどして、地元の企業を使っただけのように協力して行きたいと思っております。

T委員

共同で受注、発注で得意な力を補い合って活かして行くという、取り組みの成功事例があり、参考になると思います。

C委員

アンケートの回収率が25パーセントということで、そういう点ではアンケートに現れていない部分も、何かあるのかもしれませんが、現れていないところを実際にどのように捉えていくかといった部分も大切だと感じました。

A委員

私も建設業ということで、中々若い方が今、現実には建設業の方に来ないというところもあります。若い方の立場になってどうやって建設業をPRしていくのが課題かと思っています。

Q委員

起業するまでも大変ですが、実は起業することはスタートでどちらかというところから起業された後で苦労されている方を見て来ておりますので、関係機関と一緒に創業された後のフォローを継続して実施することが大事だと考えております。

会長

私の方から一点は、創業支援計画のことで目標が昨年と同じというのは、少し低い気がしています。

もう一つは、連絡調整会議に中小企業家同友会、それから商工団体連合会、市商連、農協を加えることを検討してはいかがかと思えます。

どの団体も常に経営のことを考えている団体ですので、検討して欲しいと思っております。

事務局

まず数値目標についてですが、昨年までと同様というのは、1つの支援メニューの内容であり、総合的な目標は別です。

連絡調整会議のメンバーについて、ご提案いただいた機関ですが、第一回目の会議が来週ですので、その中で検討して行きたいと考えています。

会長

私からも一点ですけれども、やはり創業して継続して行く為には、お客様が必要です。

中小企業振興条例の中に市民の役割も入っております。

中小企業振興条例も策定した際に作成した漫画やチラシ、広報、SNSを通して、ことある毎に市民に地元で買い物をすることが恵庭の経済にとって効果があるということを周知していただければと思っております。

事務局

この経営改善調査につきましては、いただいた回答のデータを持っており、実際の生の声をその中から拾うことが出来るデータベースとして把握しておりますので、これらを元に相談を行っていきたいと思っております。

それから、創業支援につきましては、他の市町村から見ると比較的、恵庭というのは創業支援にこれまでも力を入れていると言われております。

今後は、創業後、間もない方や創業後の方もこの中で支援をして行くことになっておりますので、どの様に支援して行けば良いか、あるいは、どのように専門家に繋げて行くかということをこれから皆さんと話し合いながら、進めて行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

閉会